

中国・樺太帰国者を知る集い

残留邦人の体験を聞く

～戦後の樺太で、旧ソ連の大陸で～

終戦時満州や樺太にいて、戦後の引揚で日本へ帰ることができず労苦を重ねてきた日本人の方たちがいます（中国残留邦人、樺太等残留邦人※総称して中国残留邦人等といいます）。戦後数十年を経て、ようやく永住帰国を果たした**中国残留邦人**等のうち、樺太等から帰国した方の多くはここ北海道で暮らしています。

（※樺太等残留邦人には終戦時樺太にいて、その後ソ連によって大陸へ強制移住させられた人も含まれます）

この集いでは、一人の**樺太等残留邦人**（故人）の人生を戦後世代の語り部が伝えます。

樺太で不当に逮捕され強制労働を強いられた後、旧ソ連カザフスタンへ強制移住させられたその男性が、生前「あの頃、人間でなかった」、「情けないな…俺の人生、そう思ってさ…」と語っていたその体験を語り部が聞き取り、まとめた内容です。

また、札幌と江別に在住する帰国者（樺太）が帰国前の生活をスピーチします。東西冷戦時代、鉄のカーテンの向こう側で、人々がどのような日々を過ごしていたのかお聞きください。

この集会を通して、皆様の帰国者に対する理解を一層深めていただけますよう、多くのご参加をお待ちしています。

※写真提供 道内在住帰国者 無断転載禁止



日 時

令和6年 **2月3日(土)**

13:00～15:30 (受付開始 12:30～)

会 場

かでの2・7 4階 大会議室

(札幌市中央区北2条西7丁目1番地)

定 員

入場無料 定員100名

※お申し込みが必要です（裏面へ）

第1部 帰国者スピーチ「永住帰国前の暮らし」

第2部 戦後世代の語り部による講話「旧ソ連残留日本人の戦後 ～伊藤實さんの人生から～」

— お申し込み・お問い合わせは裏面をご覧ください —

■主催：北海道社会福祉協議会 北海道中国帰国者支援・交流センター

■後援：北海道、札幌市、札幌国際プラザ、札幌市社会福祉協議会

申込方法

FAX・郵送・メールにて北海道中国帰国者支援・交流センターまで下記にご記入のうえお申込みください。

※メールの場合は「中国・樺太帰国者を知る集い」参加希望と記載のうえ、

①お名前 ②ご連絡先 ③（あれば）所属グループなど をお知らせください。

締め切り
1月26日

お名前	ご連絡先（住所・電話）	所属団体等（任意）
フリガナ -----	〒 — 【電話】 — —	
フリガナ -----	〒 — 【電話】 — —	
フリガナ -----	〒 — 【電話】 — —	

※お預かりした個人情報は厳重に管理し、本事業以外の目的に使用しません

キーリットーリ



会場へのアクセス

札幌市中央区
北2条西7丁目1番地

《JR》

札幌駅（南口）

《地下鉄》

さっぽろ（10番出口）

大通（2番出口）

西11丁目（4番出口）

《バス》

北1条西7丁目停留所

（JRバス・中央バス）

申込先・問い合わせ先



社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 北海道中国帰国者支援・交流センター

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでの2・7

Tel : 011-252-3411 / Fax : 011-252-3412

メール : hokkaidocenter@dosyakyo.or.jp